



三洋貿易株式会社 (証券コード 3176)

個人投資家様向け会社説明会

2019年2月22日

代表取締役社長
新谷 正伸



JPX-NIKKEI Mid Small

本日まで説明したいことは
5つです。

1. 会社の概要

2. 事業内容

3. 業績

4. 新たなステージへ～ VISION2023

5. 株主還元

TVCM (イメージスライド)

三洋貿易株式会社

ホーム CM動画紹介



■どんな‘会社 ⇒ 社会’にしたい？
(30秒ver)



三洋貿易株式会社

社員全員、



快適な
モビリティ
社会。

モビリティ



放送局/ 提供番組	放送時間	提供期間	放送エリア
TBS／TBS系列 『あさチャン！』	毎週火曜日 6:00～7:00	2018年10月～ 2019年 3月	関東エリア

まずは、三洋貿易について

1. 会社の概要

2. 事業内容

3. 業績

4. 新たなステージへ～ VISION2023

5. 株主還元

三洋貿易は

合成ゴム 化学品
自動車部品 機械
科学機器

複合型専門商社

技術を伴ったきめ細かいサービス力

製造以外の多機能の提供：①開発からモデルアウトまで
②販売後のアフターサービス ③メーカーに代わる技術サポート

ニッチな分野での深化力

1商品1仕入先：仕入先との信頼関係に基づくビジネス構築

海外10か国の自社拠点を通じた調達力

海外10か国14拠点：日本と同様な現地サービス

盤石な財務基盤での対応力



会社概要

会社名	三洋貿易株式会社
設立	1947年(昭和22年)5月
資本金	10億658万円
代表取締役社長	新谷 正伸
本社所在地	東京都千代田区神田錦町2丁目11番地
事業内容	ゴム、化学品、自動車内装部品、機械機器、科学機器その他各種商品の輸出入、国内販売を行う。 市場ニーズの高い商品を取り扱い、技術的サポートを得意とする。
拠点	国内：東京・大阪・名古屋・広島 海外：アメリカ・中国・タイ・ベトナム・インド・メキシコ・インドネシア・シンガポール・香港・ドイツ
国内子会社	三洋機械工業・コスモス商事・ケムインター・日本ルフト・三洋古江サイエンス 日本フリーマン・アズロ
売上高 *	784億円
経常利益 *	55億円
当期純利益（親会社株主帰属） *	36億円
従業員数 *	349人

国内拠点・子会社



大阪支店

1952年



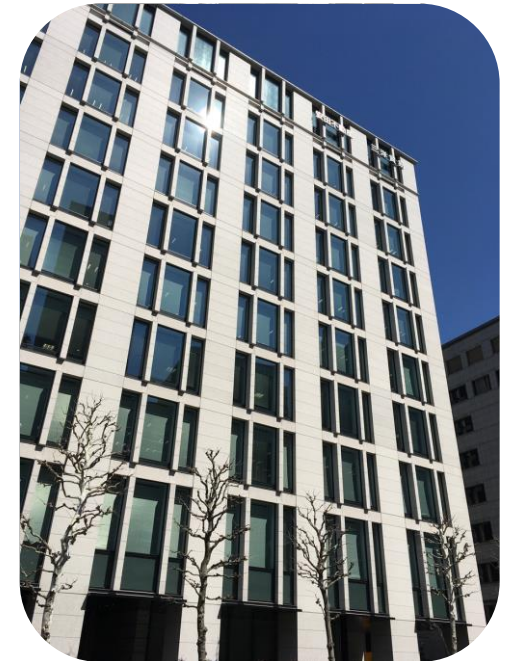
名古屋支店

1958年



広島事務所

2017年



東京本店

1948年

三洋機械(株)

1973年

コスモス商事(株)

2004年

(株)ケムインター

2006年

日本ルフト(株)

2016年

三洋古江サイエンス(株)

2017年

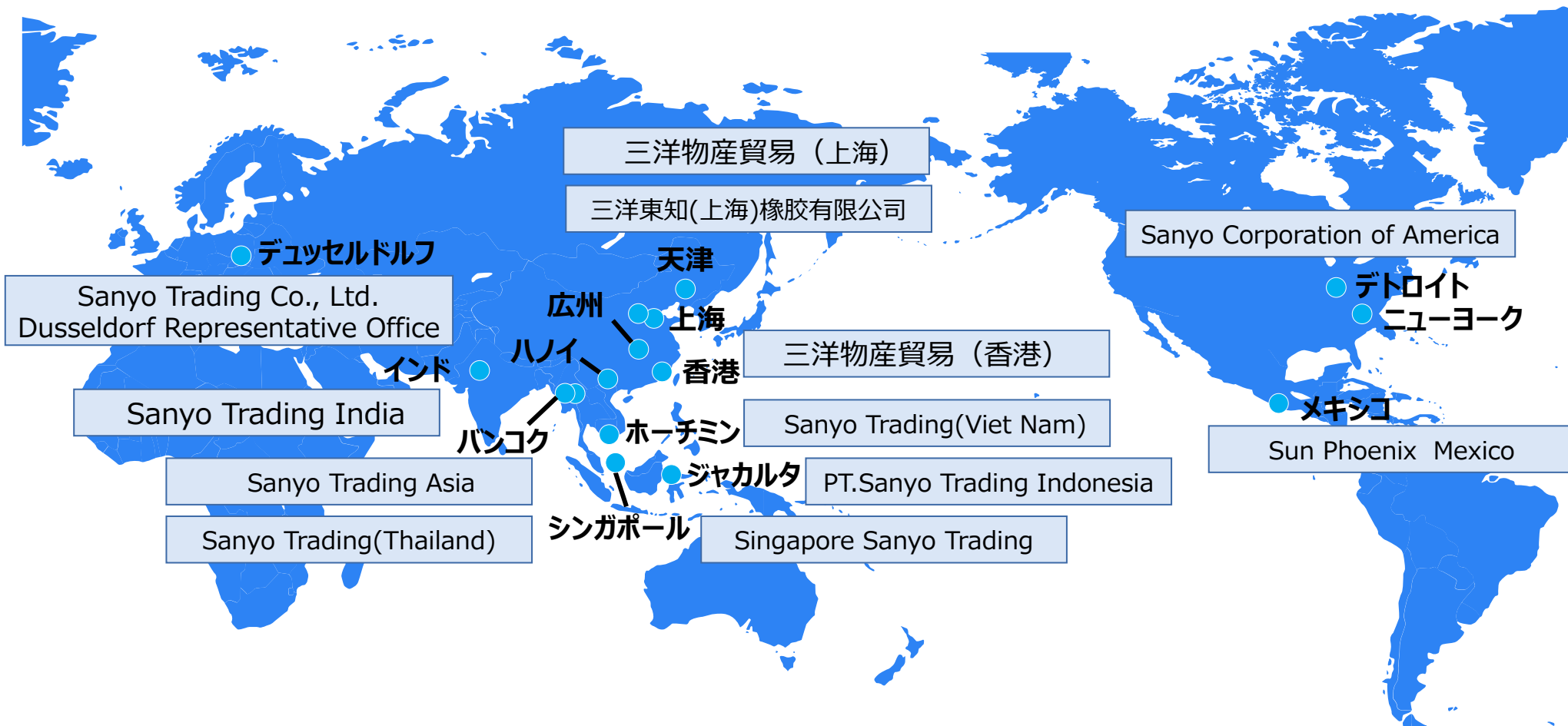
日本フリーマン(株)

2017年

アズロ(株)

2017年

海外拠点・子会社



代表 自己紹介

新谷 正伸（しんたに まさのぶ）

【経歴】

1958年(昭和31年)	6月	東京都生まれ
1982年(昭和57年)	3月	早稲田大学理工学部 卒業
	4月	当社 入社
2008年(平成20年)	10月	東京ゴム3部部長
2010年(平成22年)	10月	事業本部付部長
2012年(平成24年)	1月	Sanyo Corporation of America社長
2012年(平成24年)	10月	執行役員 兼 Sanyo Corporation of America社長
2013年(平成25年)	12月	取締役兼執行役員事業本部長
2014年(平成26年)	12月	取締役兼執行役員経営戦略室長
2018年(平成30年)	12月	代表取締役兼 社長執行役員（現在）

【座右の銘】

人事を尽くして天命を待つ



三洋貿易の事業について

1. 会社の概要

2. 事業内容

3. 業績

4. 新たなステージへ～ VISION2023

5. 株主還元

三洋貿易は

以下の5事業部が国内外で様々な事業を展開しております。
次項から個別に説明いたします。

化成品セグメント

ゴム事業部

化学品事業部

国内子会社

ケムインター、アズロ

機械資材セグメント

産業資材事業部

機械環境事業部

科学機器事業部

国内子会社

日本フリーマン、
コスモス商事、三洋機械工業、
日本ルフト、三洋古江サイエンス

海外拠点

アメリカ・メキシコ、中国・香港、タイ・ベトナム・シンガポール・インドネシア・インド、ドイツ

皆様の生活と 当社との関係は？



移動

産業資材事業部

＜自動車シート用部品＞

シート用本革、ランバーサポート、シートヒーター等の自動車シート用部品を主要自動車メーカーに販売しています。



ゴム事業部



＜タイヤ用各種原材料・添加剤＞

主要タイヤメーカーに原材料を販売しています。
最近需要が伸びている高性能タイヤ用途へも販路を拡大中です。

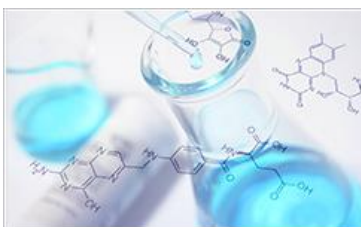
医療

化学品事業部



＜医薬中間体＞

ジェネリック薬品向け
医薬原体・中間体
を手掛けています。



科学機器事業部

＜在宅医療機器＞

酸素濃縮器、呼吸器系医療用チューブ
を手掛けています。



山林

農場

機械環境事業部

＜バイオマス発電＞



木質バイオマス熱電併給装置の販売を通じて
再生可能エネルギー市場に進出しています。



機械環境事業部

＜ペレット造粒機器(飼料、固形燃料)＞

日本総代理店として60年以上の歴史をもち、
国内飼料用ペレットミルシェアは8割以上を誇ります。



海外展開

主要三大地域

中国 ; 三洋物産貿易(上海)

ゴム事業部

化学品事業部

産業資材事業部

主力事業

- 自動車シート部材
- 化成品

注力分野

- リチウム電池材料
- 工業用接着剤



ASEAN ; Sanyo-Trading Asia(タイ)

ゴム事業部

化学品事業部

産業資材事業部

主力事業

- 自動車向けゴム原材料
- 自動車シート部材
- 化成品

注力分野

- 高機能電材添加剤
- アジア複数現地法人との連携



米国 ; Sanyo Corporation of America

ゴム事業部

化学品事業部

産業資材事業部

主力事業

- 高機能性フィルム、吸水性ポリマー
- 自動車シート部材
- ゴム副資材

注力分野

- 高付加価値フィルム
- メキシコ現地法人との連携



業績について

1. 会社の概要

2. 事業内容

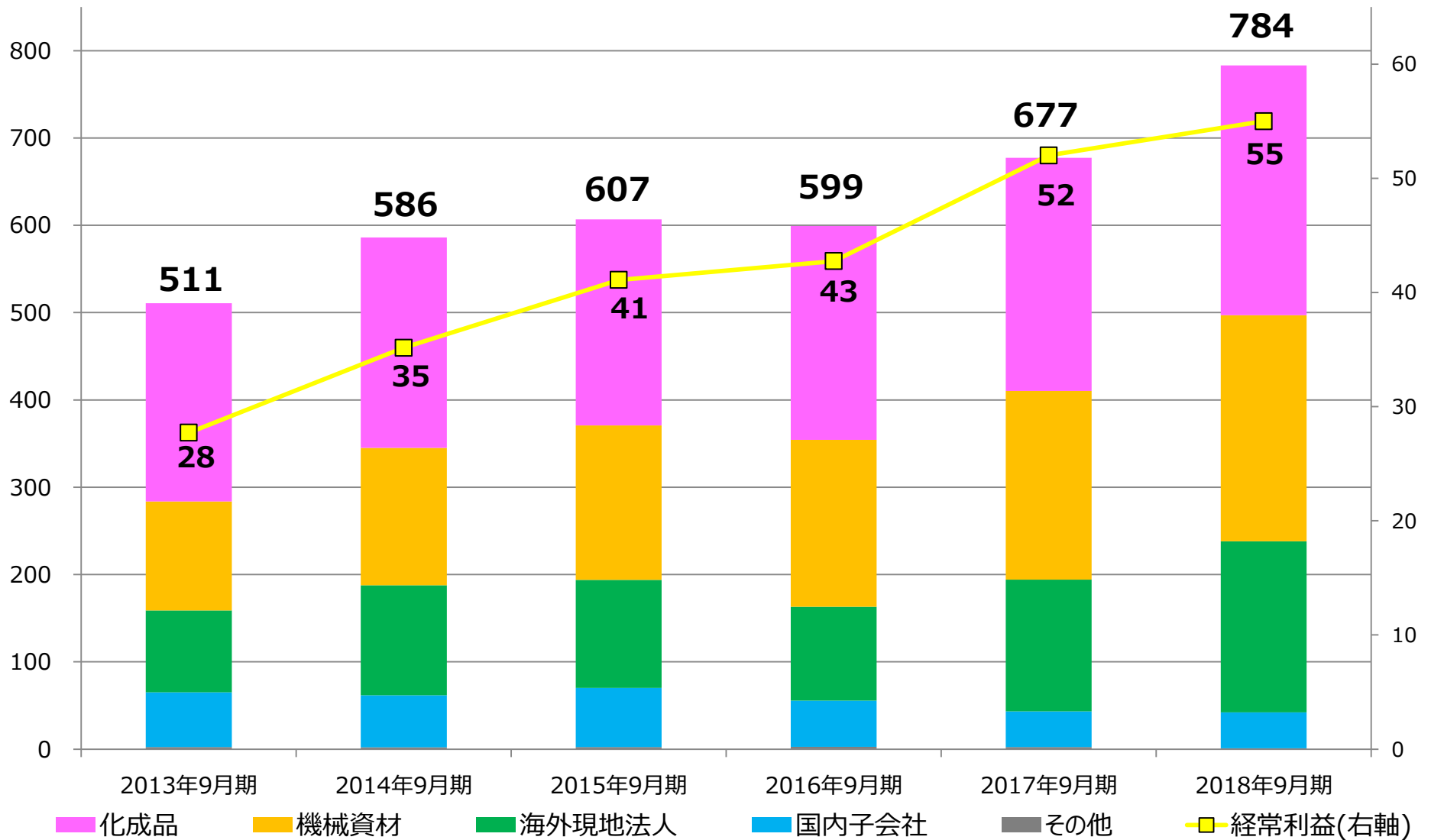
3. 業績

4. 新たなステージへ～ VISION2023

5. 株主還元

売上・利益推移

単位：億円



2018年9月期

最高益更新

売上高 784億5,000万円
(前年比：15.8%増)

経常利益 55億7,500万円
(前年比：5.8%増)

当期純利益 36億3,500万円
(前年比：8.5%増)

中長期ビジョン

1. 会社の概要

2. 事業内容

3. 業績

4. 新たなステージへ～ VISION2023

5. 株主還元

業績目標

- 新たに長期ビジョンを策定（2018年11月公表）

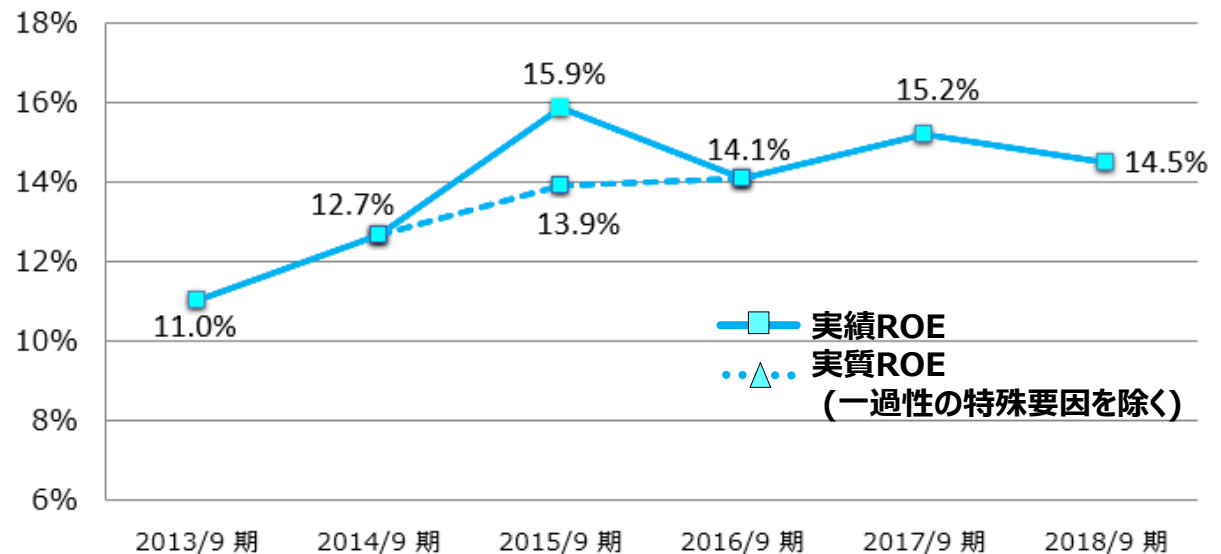
2023年9月期までに……

①連結経常利益	75億円
②ROE	15%
③海外拠点売上高成長率	10%

ROEの推移は、
業界平均を大きく
上回る

(ご参考)
2018/3月期 東証1部
卸売業平均；約10%

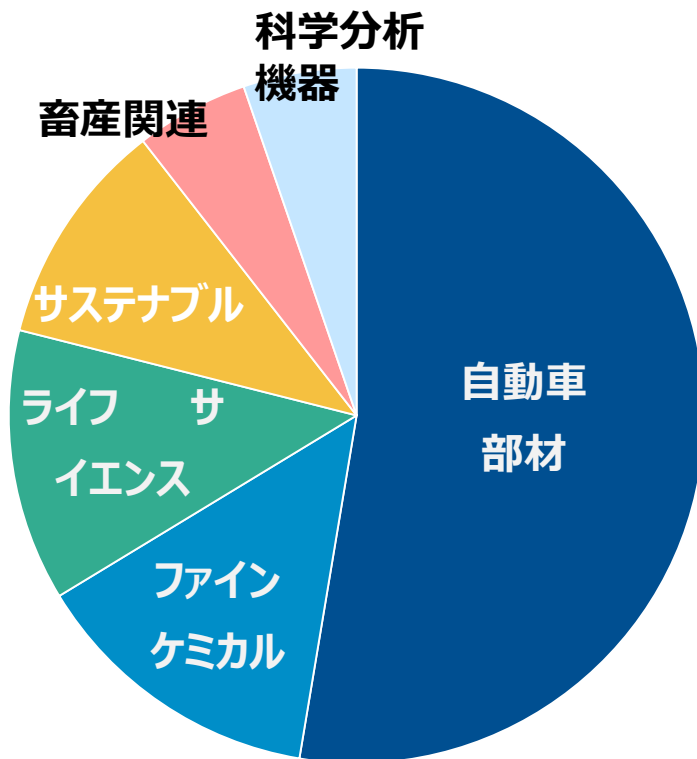
ROE（自己資本利益率）の推移



ありたい姿-ドメイン別

ありたい姿

2023年 事業規模イメージ



事業領域の深化

当社注力領域 (ドメイン)	背景	特定分野 (ニッチ分野)	担当事業部 /子会社
自動車部材	自動車内装材を中心に日系自動車メーカーに快適な移動空間を創造する	内装材	産業資材
		ゴム部材	ゴム
ファインケミカル	高機能素材、添加剤を中心に、付加価値の高いケミカルを取扱い、産業の発展に寄与する	高機能化学品	化学品
		ゴム添加剤	ゴム
ライフサイエンス	医療機器、医薬中間体、又ヘルスケア商材を通じて人の健康に寄与する	医薬中間体	化学品
		医療機器	日本ルフト
		ゴム部材	ゴム
サステナブル (環境対応)	木質バイオマスや地熱発電を通じて、地産地消、日本の再生可能エネルギー事情を改善する	木質バイオマス	機械環境
		地熱発電	コスモス商事
畜産関連	日本の食文化、食の安全、供給に寄与する	ペレットミル機械	機械環境
		畜産部材	化学品
科学分析機器	日本の技術研究の発展に寄与すべく最新の測定、分析機器を取り扱う	先端計測・分析	科学機器

今後の方向性

単位:億円

売上高

1,000

経常利益

100

Vision2023 対象期間

800

80

600

60

400

50

200

0

16/9期

17/9期

18/9期

19/9期
計画

23/9期
目標

<主な今後の成長要因>

- ・資源環境
⇒エネルギー革命への対応
(木質バイオマス・地熱等)
- ・自動車分野
⇒EV化・自動運転化への対応、
新興国市場の需要拡大対応
- ・グローバル展開
⇒現地化・非日系への展開、
OUT-OUT・三国間取引拡充

■ 経常利益(実績) ■ 経常利益(計画、目標) ■ 売上高

株主様への還元について

1. 会社の概要

2. 事業内容

3. 業績

4. 新たなステージへ～ VISION2023

5. 株主還元

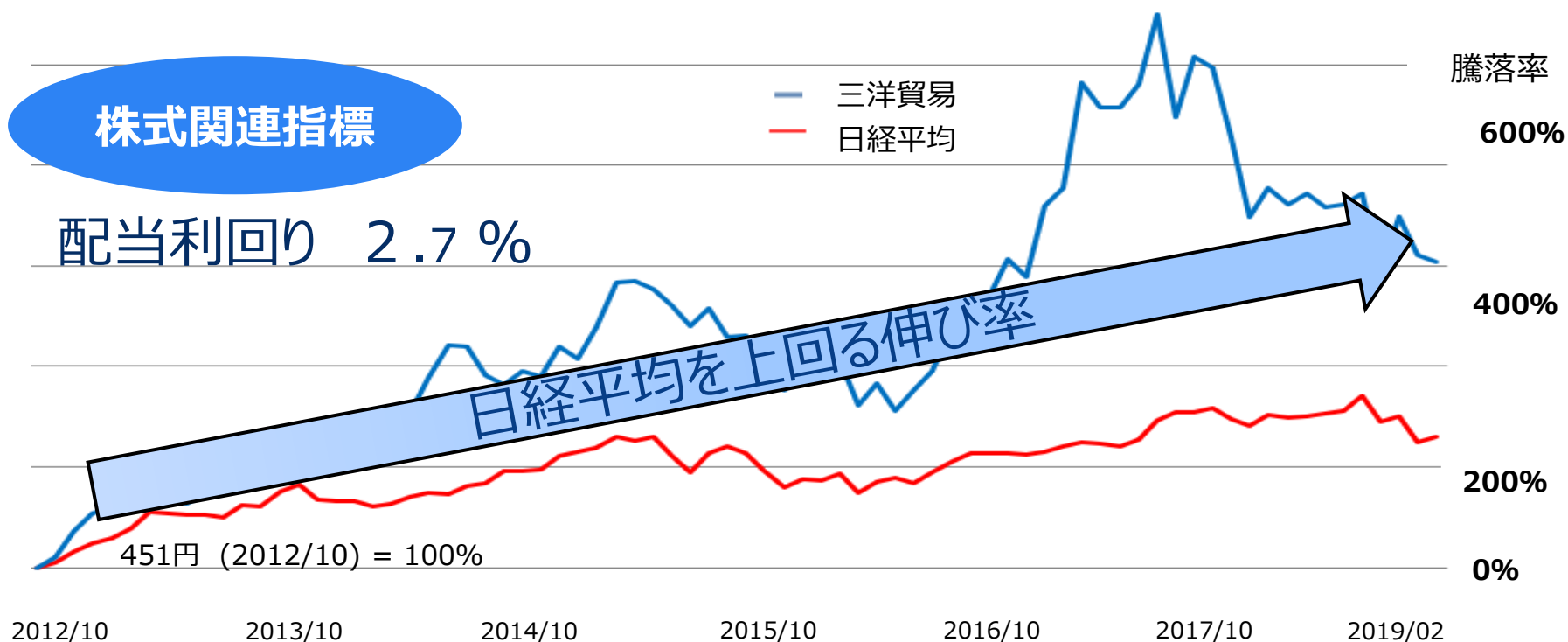
株価推移

2019年 2月 14日 2,024円 (100株 = 約20万円)

 **JPX-NIKKEI Mid Small** : 2018年度「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に選定されました。

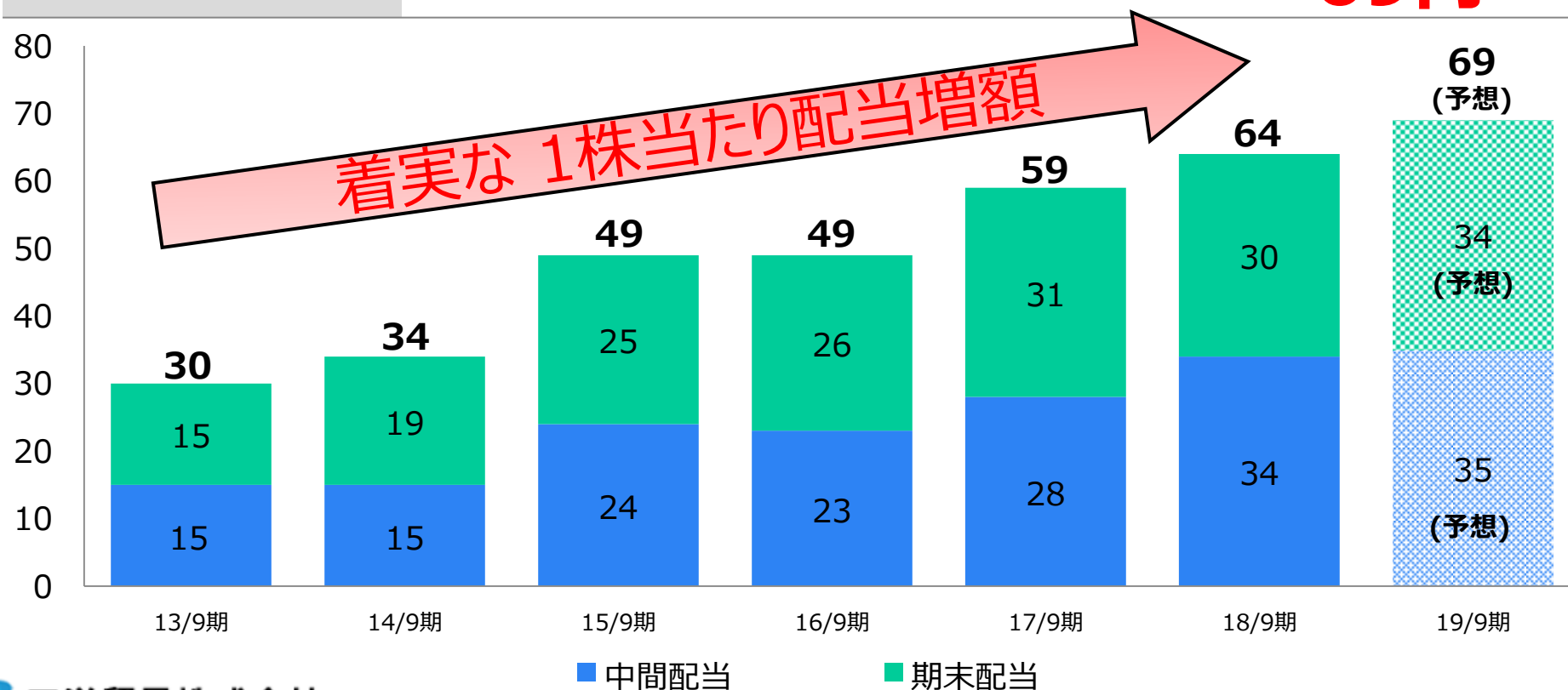
株式関連指標

配当利回り 2.7 %



1株あたり配当金

69円



まとめ

**三洋貿易は
安定した経営のもと、
強みを生かして
さらなる成長、
より良い会社を
目指します。**

技術を伴ったきめ細かいサービス力

製造以外の多機能の提供：①開発からモデルアウトまで、
②販売後のアフターサービス、③メーカーに代わる技術サポート

ニッチな分野での深化力

1商品1仕入先：
仕入先との信頼関係に基づくビジネス構築

海外10か国の自社拠点を通じた調達力

海外10か国14拠点：日本と同様な現地サービス

盤石な財務基盤での対応力

ご清聴ありがとうございました。

(証券コード 3176)

APPENDIX

会社説明資料

1947年	5月	旧三井物産の解体に伴い、同社神戸支店有志により神戸を本店として資本金195千円をもって三洋貿易株式会社を設立
1948年	5月	東京支店を設置
1952年	12月	大阪支店を設置
1954年	1月	ニューヨーク駐在員事務所を開設(1961年2月 Sanyo Corporation of Americaに改組)
1958年	8月	名古屋支店を設置
1961年	11月	本店を神戸から東京に移転
1988年	6月	バンコク駐在員事務所を開設
1990年	9月	ハノイ駐在員事務所を開設
1992年	10月	ホーチミン駐在員事務所を開設(2010年2月 Sanyo Trading(Viet Nam)Co., Ltd.に改組)
2002年	8月	上海駐在員事務所を開設
	10月	ニューリー・インスツルメンツ株式会社を吸収合併
2003年	6月	バンコク駐在員事務所をSan-Thap International Co.,Ltd.社へ業務移管
2004年	1月	コスモス商事株式会社を子会社化
	10月	株式会社東知との共同出資にて、三洋東知（上海）橡膠有限公司を設立
2006年	4月	三洋テクノス株式会社を設立
	10月	株式会社ケムインターに資本参加し、発行済株式の68.52%を取得（現在 76.85%）
2010年	10月	インド駐在員事務所(ニューデリー)開設 (2011年12月 Sanyo Trading India Private Ltd.に改組)

2012年	2月	三洋物産貿易（香港）有限公司を設立
	10月	東京証券取引所 市場第2部に上場
2013年	10月	メキシコにSun Phoenix Mexico S.A. de C.V.を設立
	10月	東京証券取引所 市場第1部指定
2014年	8月	インドネシアにPT. Sanyo Trading Indonesiaを設立
2015年	6月	Bestrade Precision Singapore社を子会社化。 7月 Singapore Sanyo Trading Pte. Ltd. に 社名変更
	9月	株式会社ケムインターがコムスタージャパン株式会社を子会社化
	10月	タイ に Sanyo Trading(Thailand) Co., Ltd.を設立
2016年	2月	株式会社ソートの子会社化(2018年4月 吸収合併)
	7月	日本ルフト株式会社を子会社化
2017年	2月	古江サイエンス株式会社を孫会社化（2017年9月 三洋テクノス株式会社と合併。三洋古江サイエンス株式会社に商号変更）
	3月	ドイツ に Sanyo Trading Co., Ltd. Dusseldorf Representative Officeを設立
	6月	日本フリーマン株式会社を子会社化
	8月	広島事務所を開設
	10月	アズロ株式会社を子会社化
2018年	2月	San-Thap International Co., Ltd.を完全子会社化（2018年6月 Sanyo Trading Asia Co., Ltd.に商号変更）

化学品セグメント

ゴム事業部

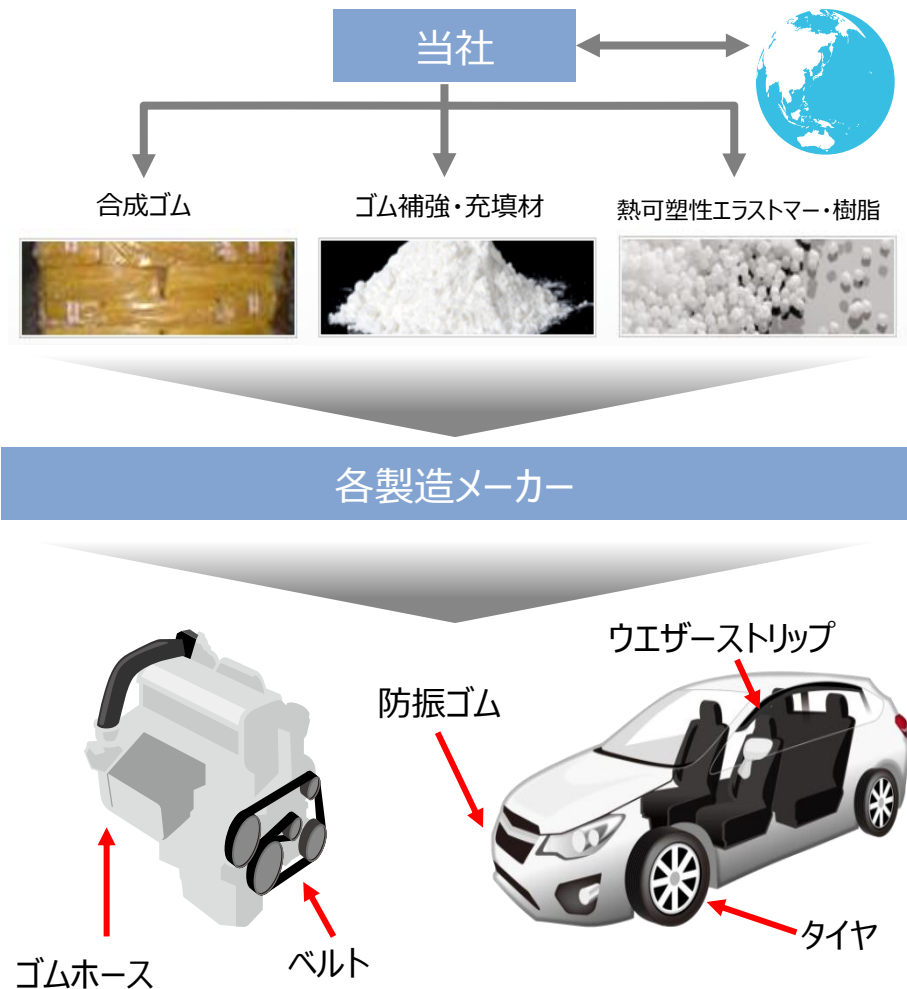
主要取扱商材	合成ゴム（ブチルゴム、NBR、シリコンゴム等）、 ゴム補強・充填材（特殊クレー、難燃剤 等）、 可塑剤、熱可塑性エラストマー・樹脂 等
主要販売先業界	自動車、情報機器 等
主要用途	・タイヤ、自動車部品（内外装部品、防振ゴム、 ホース、オイルシール等） ・OA部品（各種ロール等）、医療関連商品等
注力分野	海外展開

管掌子会社 三洋東知

特徴・強み

- 1952年 日本で最初に合成ゴムを輸入。
ゴム産業に係る幅広い商品を取扱う
- 取引先は国内タイヤ、工業用ゴム製品の主要
メーカーをほぼ網羅

取扱い商材例とその最終製品例



化学品セグメント

化学品事業部

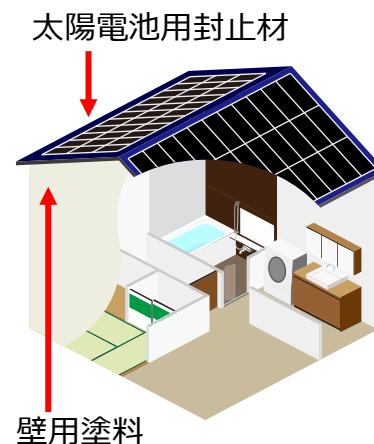
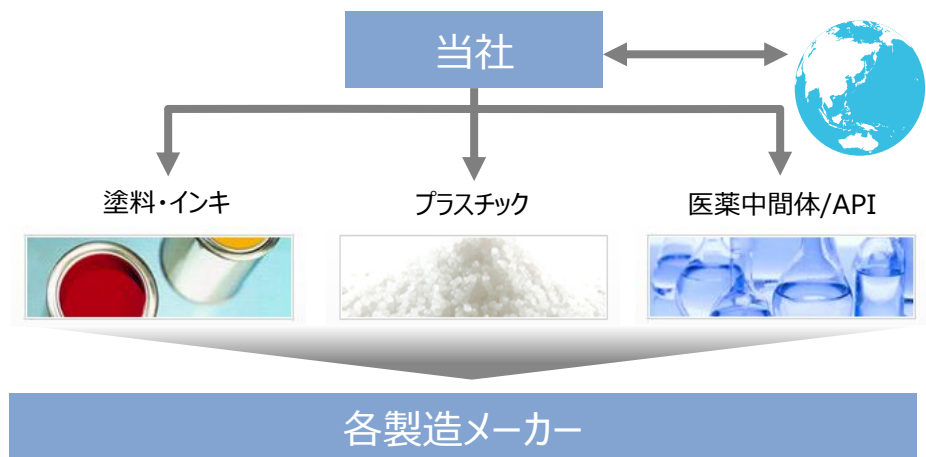
主要取扱商材	塗料・インキ用添加剤等、各種樹脂、電子材料、高機能性フィルム、医薬中間体/API(原薬)、畜産関連資材、接着機器等
主要販売先業界	化学、医薬、建材、自動車、電材、畜産 等
主要用途	住宅(塗料・インキ)、電子機器(プラスチック)、各種フィルム、医薬品等
注力分野	医薬中間体/API、高機能性フィルム

管掌子会社 ケムインター、アズロ

特徴・強み

- 医薬中間体/API、太陽電池関連、環境対応型商品など、医薬、エネルギー、環境向けにライフサイエンス商品も展開
- 海外より各種原材料を輸入し、在庫販売。さらにきめ細やかな技術サービスを提供

取扱い商材例とその最終製品例



接着剤



各種フィルム



飼料添加物



医薬品

機械資材セグメント

産業資材事業部

主要取扱商材	自動車シート用本革、シートヒーター、ランバーサポート、シーター用モーター、着座センサー等
主要販売先業界	自動車関連
主要用途	自動車用内装部品（主として高級車）
注力分野	エアバッグ用センシングデバイス、空調シート（温・冷風）

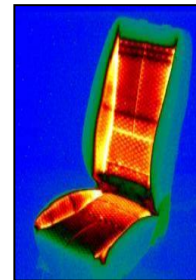
管掌子会社 日本フリーマン

特徴・強み

- 自動車メーカー及び関連シートメーカーとの強い関係構築
- 新車の開発段階からデザインの提案や性能開発・改良に参加

取扱い商材例

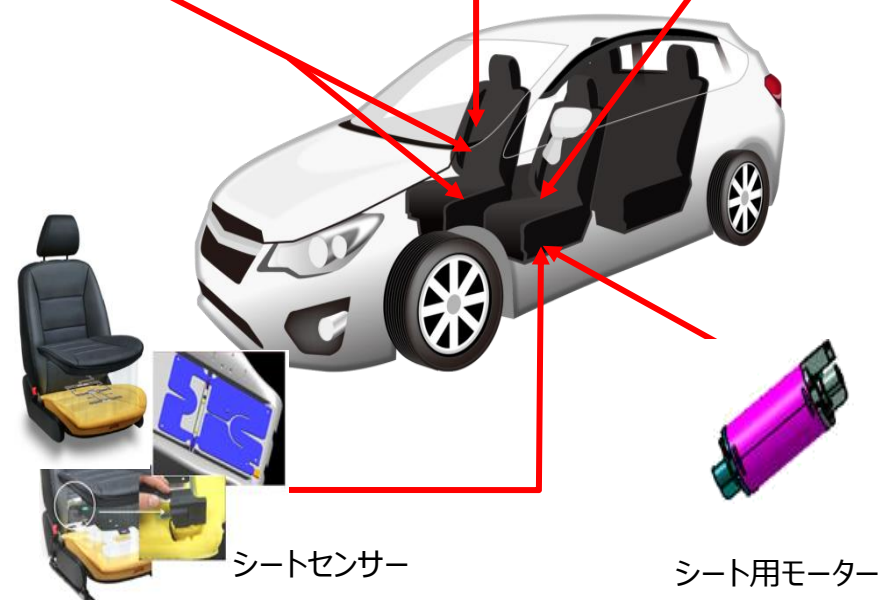
シートヒーター



ランバーサポート



レザーシート



機械資材セグメント

機械・環境事業部

主要取扱商材	ペレットミルおよび関連部品、 木質バイオマス関連機器
主要販売先業界	<ul style="list-style-type: none"> ● 畜産飼料業界、エネルギー業界、リサイクル業界 ● 木質バイオマス業界 (例: 地方公共団体、森林組合)
主要用途	<ul style="list-style-type: none"> ● 飼料製造、固形燃料（ペレット）製造 ● 熱電併給(グリーン電力・ハウス栽培・温浴施設)
注力分野	木質ペレットガス化熱電併給装置

管掌子会社 コスモス商事

特徴・強み

ペレットミル(CPM社製)

- 日本総代理店として60年以上の歴史
- 飼料用ペレットミルの国内シェアは8割以上

木質バイオマス関連機器

- 再生可能エネルギー利用促進および地域振興に貢献

取扱い商材例



CPM社製 ペレットミル



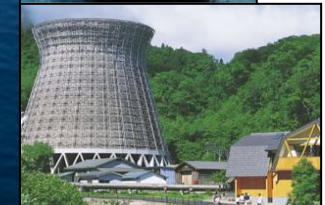
ブルクハルト社
ガス化ユニット

石油ガス、海洋、地熱、温泉などの資源開発機材



©JAMSTEC

地球深部探査船「ちきゅう」



事業部紹介 (機械資材セグメント)

機械資材セグメント

科学機器事業部

主要取扱商材	各種検査・試験機器（摩擦試験機、金属分析器、ガス分析計、耐候性試験機、バイオセンサー、表面物性試験機等）・医療機器
主要販売先業界	国立研究所、防衛省、大学、石油、化学、自動車、製薬等
主要用途	研究開発、品質管理、判別、危機管理
注力分野	医療機器、バイオリアクター

管掌子会社 日本ルフト、三洋古江サイエンス

特徴・強み

- 特定の分野ではなく、公官庁、民間企業とも幅広い分野に顧客を有する
- 海外の先端技術を有する多くのメーカーの優れた商品を国内に輸入、販売を行う

取扱い商材例



乳幼児体動モニタ
「ベビーブレスN」

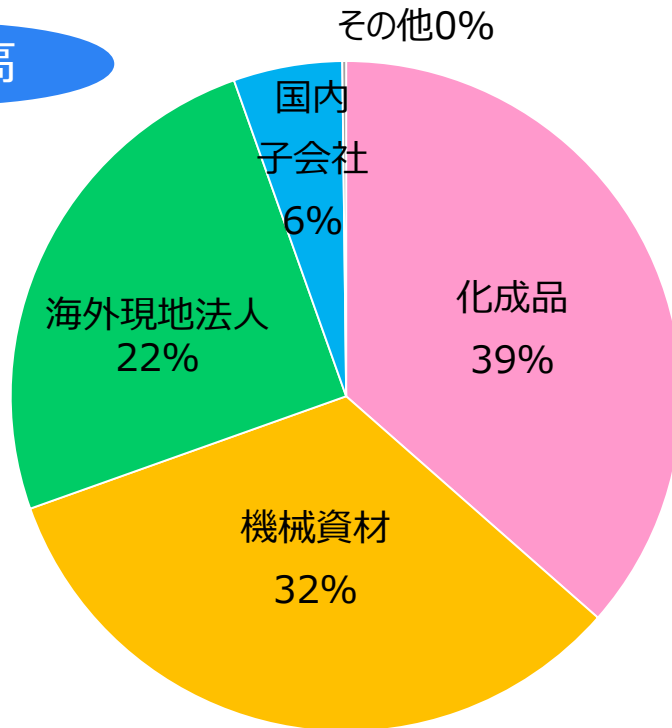
酸素濃縮装置



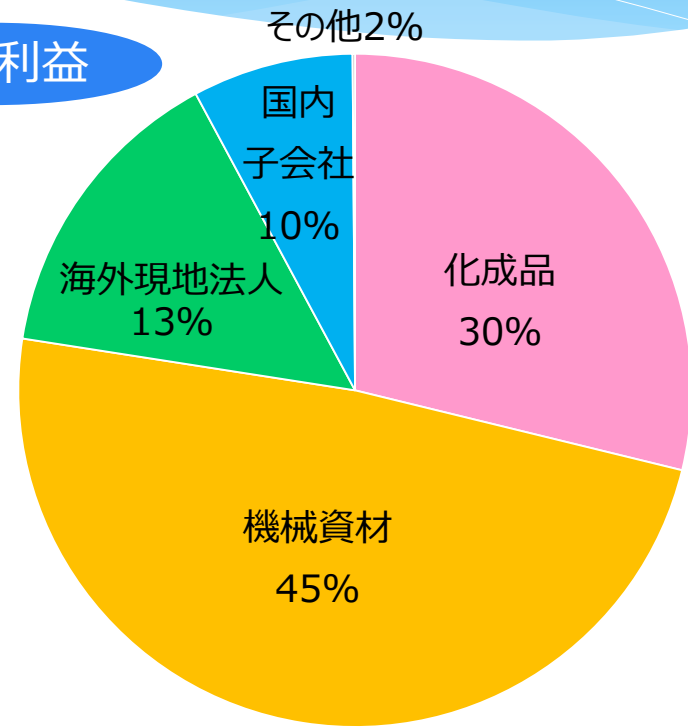
ガス分析装置

事業ポートフォリオ (セグメント別売上・利益)

売上高



営業利益



セグメント別売上実績

セグメント別売上実績				
2018年9月期 単位:億円				
化成品	機械資材	海外現地法人	国内子会社	その他
286	259	196	41	1

セグメント別営業利益実績

セグメント別営業利益実績				
2018年9月期 単位:億円				
化成品	機械資材	海外現地法人	国内子会社	その他
17	29	9	5	0

2014年以降のM&Aの状況

事業領域の事業分野への拡大

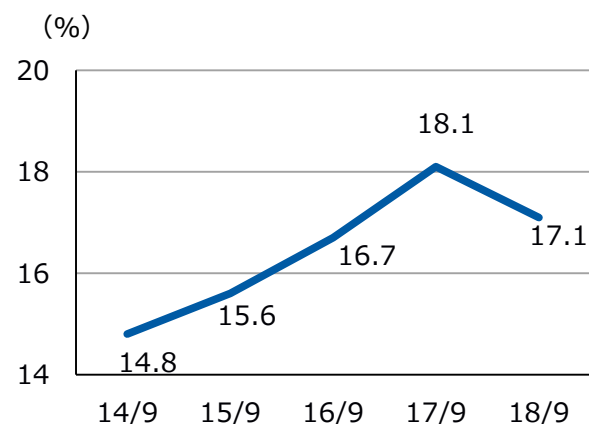
化成品セグメント	
化学品事業部	
ソート 2016年2月	UVインキ・光硬化型樹脂分野へ ※2017年 吸収合併
アズロ 2017年9月	医薬・中間体分野へ
コムスタージャパン 2015年9月	特殊洗浄剤分野へ
機械資材セグメント	
産業資材事業部	
日本フリーマン 2017年7月	精密鑄造分野へ
科学機器事業部	
日本ルフト 2016年7月	医療機器分野へ
三洋古江サイエンス 2017年2月	理化学機器製造分野へ
海外現地法人セグメント	
Singapore Sanyo Trading 2015年6月	特殊フィルム分野へ

※青色は連結対象

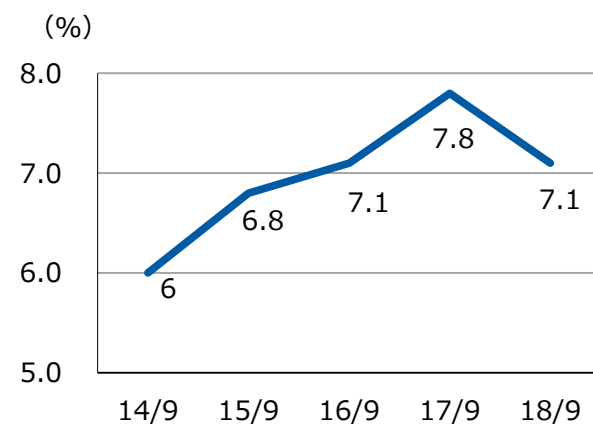
財務比率の推移

- 売上に対する利益率、資産および資本に対する利益率とも増加傾向

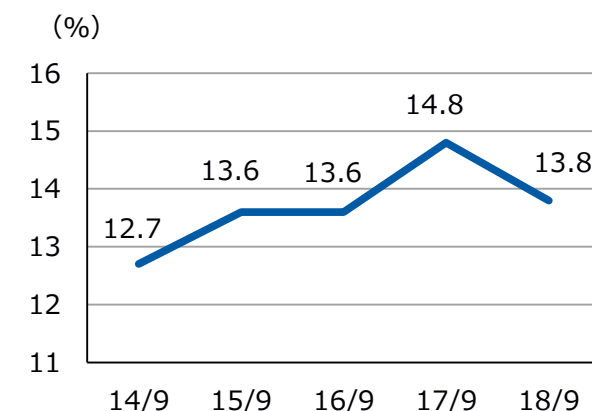
売上高総利益率



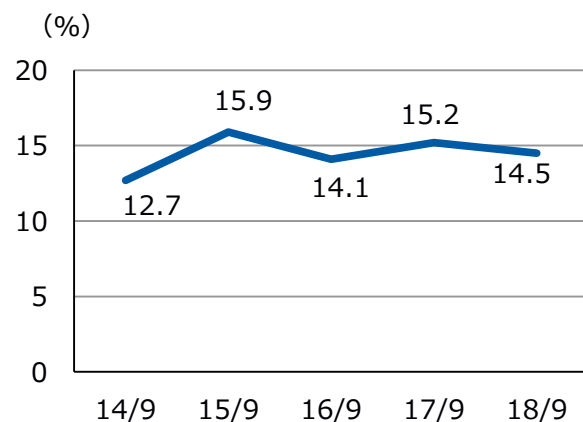
売上高経常利益率



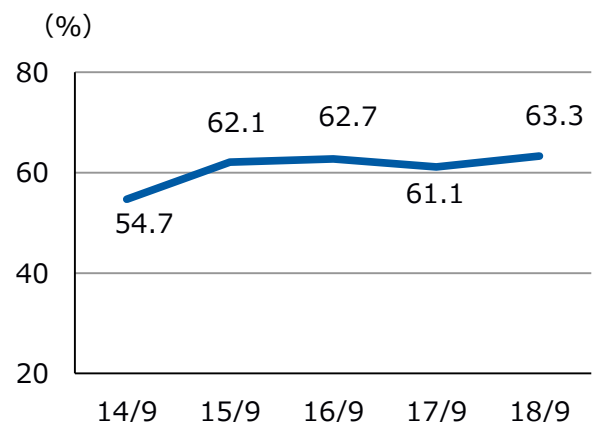
総資産経常利益率 (ROA)



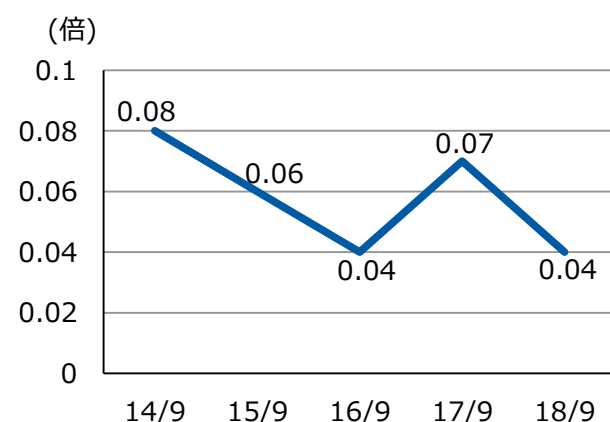
自己資本利益率 (ROE)



自己資本比率



D/Eレシオ



IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 経営戦略室長代行 大谷 隆一

電話：03-3518-1111 e-mail：i r @sanyo-trading.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。